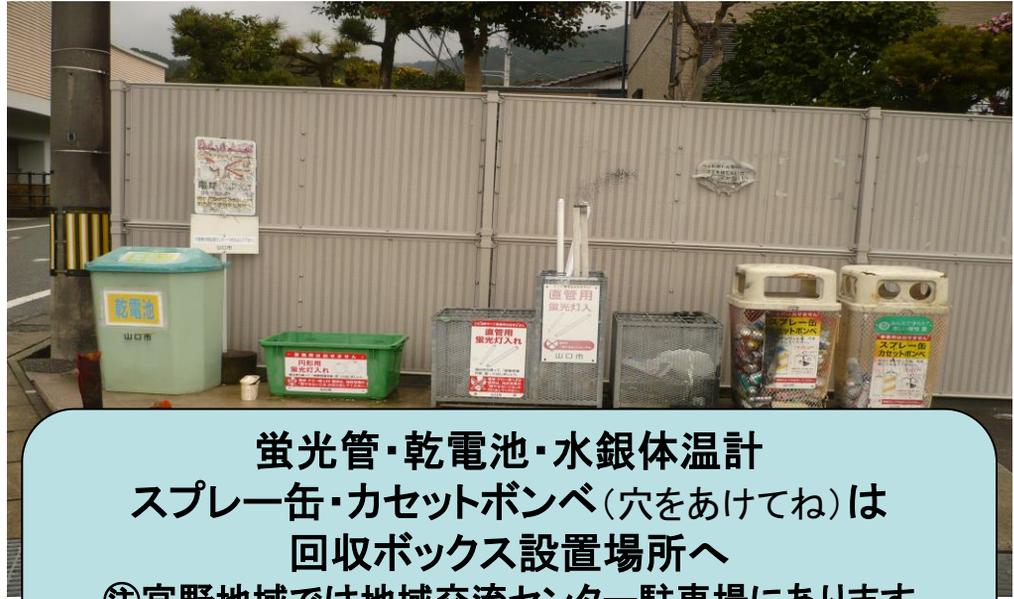


ゴミ(資源ごみ)出しのお手伝いは気軽な助け合い!

高齢者や足腰の不自由な方は
ご近所の皆様方が頼りです!



蛍光管・乾電池・水銀体温計
スプレー缶・カセットボンベ(穴をあけてね)は
回収ボックス設置場所へ
②宮野地域では地域交流センター駐車場にあります
決められたボックスに入れてね
他のゴミは入れないでね

「助け合いの輪」町内で検討されませんか!



小型家電や電子たばこ・加熱式たばこも回収ボックスへ
②宮野地域では交流センターに入って
左側にあります



充電式電池・モバイルバッテリー
ボタン電池・コイン電池も
回収ボックスへ
②宮野地域では交流センターに入って
左側の事務所内にあります

宮野地区社協では助け合いの輪を広げる環境づくりを推進しています

宮野地区社会福祉協議会生活環境部会
事務局 宮野地域交流センター内

ウラもみてね



ゴミ出しが大きな悩み

昨年5月から6月にかけて宮野地区社会福祉協議会で「生活の困りごとアンケート」を実施し、高齢者や足腰の不自由な方々にとっては日常生活の中でのゴミ出しで家族や親族隣人等の支援を受けている人や現在・将来不安に思っている人が多くいることがわかり、今後何らかの対策が必要と考えています。

毎週の燃えるゴミのほか、月に一度はビン、缶、金属類や燃えないゴミなどもあります。

特に電池類・スプレー缶・カセットボンベなどは宮野地域交流センターまたはリサイクルプラザの回収ボックスに持参する必要があります。

ゴミ袋を持つての歩行は、常に「無理では・・・、転んでしまったら・・・」との不安がつきまとい、ゴミ集積所が遠い場合などは、その不安の大きさは私たちの想像以上のものがあります。

日常生活でヘルパーさんの支援を受けている方もいらっしゃいますが、通常ではヘルパーさんの訪問時間がゴミの収集時間に間に合わないといった問題もあります。

そんな時、頼りになるのは、やはり『隣り近所の方々』です。ご近所の皆さんの「うちのゴミと一緒に出してあげますよ」「交流センターに行く用事があるから」の一言が、助け合いの輪を広げる大きな力となります。

ゴミ出しのお手伝いは気軽な助け合いです。町内活動を支える「ご近所の底力」となります。

宮野地区社協では助け合いの輪を広げる環境づくりを推進しています。

皆様方の町内でご検討されませんか！